

- ◎御講演 「最近の日米関係とトランプ新政権」
外務省北米局参事官 小野 啓一 氏
【大使の手紙】 大きな政治的変動の真っ只中にある国
在コンゴ民主共和国大使館 特命全権大使 軽部 洋 氏
【会員のページ】 「世相雑感」への会員の方のご投稿をお待ちしています



The Society for Promotion of Japanese Diplomacy

発行:(一社)日本外交協会 URL <http://www.spjd.or.jp>

平成29年 3月16日号

「最近の日米関係とトランプ新政権」

外務省北米局参事官

小野 啓一 氏

(平成29年2月10日 於日本記者クラブ)



本来ならば森健良・北米局長がお話をさせていた
だくはずでしたが、森が昨夜から安倍晋三総理に随
行して、今ワシントンにおりますので、私が代わっ
てお話させていただきます。明日早朝に日米首脳会
談というタイミングで、申し上げにくいこともあり
ますが、できるだけ率直にお話します。個人的意見
ということでお聞き下さい。

沖縄北部訓練場過半返還と日米地位協定補足協定

まずオバマ政権終盤での日米関係からお話しま
す。米国の政権交代の前に、日米両政府間で、様々
な懸案の解決をはかりました。昨年12月は日米関
係・日米安保に携わっている人間にとって大変忙し
い月でした。沖縄の在日米軍施設・区域の返還とし
て最大規模となった北部訓練場の過半の返還がクリ
スマス直前に実現しました。ほぼ同時に日米地位協
定の軍属に関する補足協定に実質合意し、1月16
日に署名・発効しました。G8サミットの少し前の
昨年4月に起きた沖縄での米軍属による殺人被疑事
件を受け、集中的に交渉して妥結したものです。

また、少し性格が違いますが、普天間飛行場の辺
野古移設に関連する最高裁の判決が12月に出て、そ
して年末に総理がオバマ大統領と真珠湾を訪問しま

間じっくりお話をされました。これが最初の出会い
です。次のやり取りが1月28日の首脳電話会談で、
就任以降の最初の40分に及ぶしっかりした会談で
した。そこで2月10日に首脳会談をワシントンで行
うことで一致し、本日に至ったわけです。

首脳会談の第一の狙いは首脳同士の信頼構築

明日の首脳会談の狙いは、何といたってもリーダー
同士の個人的な信頼関係の構築です。トランプさん
という新しいスタイルの新しい大統領との間で個人
的関係を構築できるのは総理だけです。我々事務方
にも閣僚にもできない。これをしっかりとやってい
ただきたい。それが狙いの一丁目一番地です。

そのうえで、総理は日米同盟は揺るぎないという
ことを発信する会談にしたいと繰り返し言われてお
り、まさにそういうことだと思っています。

また、先週、ジェームズ・マティス国防長官が訪
日され、日米同盟のコミットメントの確認、尖閣に
対する日米安保条約第5条の適用、拡大抑止や沖縄
について非常に強いメッセージを発信されました。
そういう基礎に基づいて、明日の首脳会談ではトッ
プレベルでやり取りをしていただければと考えてい
ます。

※ご注意: 会報は会員専用のサービスのため、ご購入いただくには、当協会にご入会くださいますようお願い致します。

ご入会は「入会のご案内」よりお問合せください。